

目的：学校、家庭、地域の三者が連携し、役割分担しながら、学校における授業、地域における多様な学習や体験活動の機会の充実などに取り組むことにより、土曜日の教育環境を豊かなものにするを目的とする。

<国の動向>

文部科学省『「土曜授業に関する検討チーム」の最終まとめ』により、土曜日の教育環境を豊かなものにする必要性が問われている。

<現状>

土曜日に堺マイスタディ事業を実施している学校がある。学習内容として国語・算数・英語の教科学習に捉われず、総合的な学力の向上にむけて、学校や地域の状況に応じたさまざまな取組の実施を検討している学校がある。

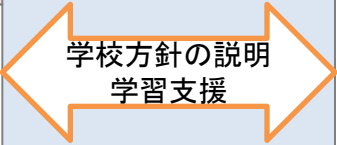
<事業の概要>

教育委員会(小学校5校・中学校2校程度のモデル校指定、外部人材管理)

モデル実施校 (小学校5校・中学校2校程度)

- 年3回程度、土曜日ならではの特性を生かし、質の高い土曜学習を実施
(確かな学力の定着を図る学習、パソコン講座、夏季冬季特別教室、英会話教室、親子体験教室、ものづくり体験、理科実験教室、ビブリオバトル等)
- 保護者や地域人材等のゲストティーチャーによる学習
- 地域の特色に応じたカリキュラムの作成
- 土曜学習支援員の配置

学校・地域との連携



子どもたちにとってより豊かで有意義な土曜日の実現



地域人材

- 学校の方針にそった指導
- 外部人材システムへの登録後、学校の方針にそった指導を展開
 - 土曜学習支援員として学校の方針をもとに、各校における土曜学習の企画立案、実施、運営、地域人材との連絡調整およびスケジュール管理
 - HP等を活用した取組の発信

学校・家庭との連携



家庭

- ゲストティーチャーとして学校の取組に対して協力
- 親子教室等への参加
- 土曜学習参加に協力

家庭・地域との連携

<ポイント>

地域とのふれあいの中でさまざまな教育の機会を提供する

- ①受講料は無料
- ②講師は外部人材システム登録者
- ③土曜日に開講
- ④学校管理下での学習

<課題>

- 実施にあたっては、学校週5日制の趣旨をふまえつつ、保護者や地域住民等に開かれた学校づくりを進める観点から実施する。
- 児童生徒や外部人材の負傷等の保険関係の取り扱い

<事業実施により期待される効果>

- 学校・家庭・地域によるひろがる教育の実現
- 地域コミュニティの拠点となる学校づくりの実現
- 子どもたちにとって豊かで有意義な土曜日の実現